

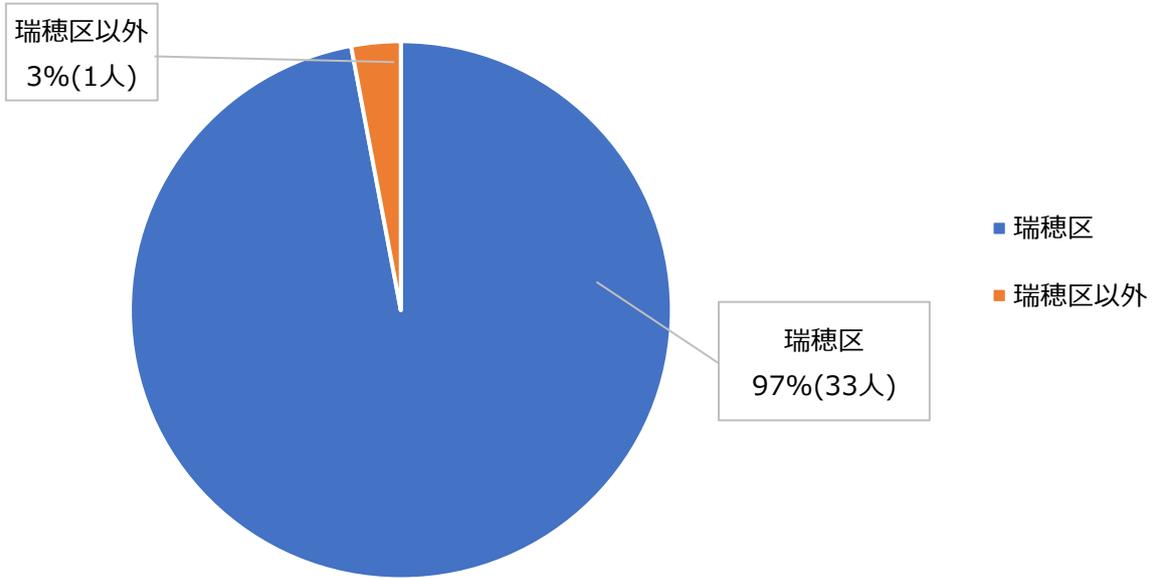
令和6年度 瑞穂区多職種連携研修会 アンケート結果

日 時：令和6年10月10日(木) 13:30~15:00

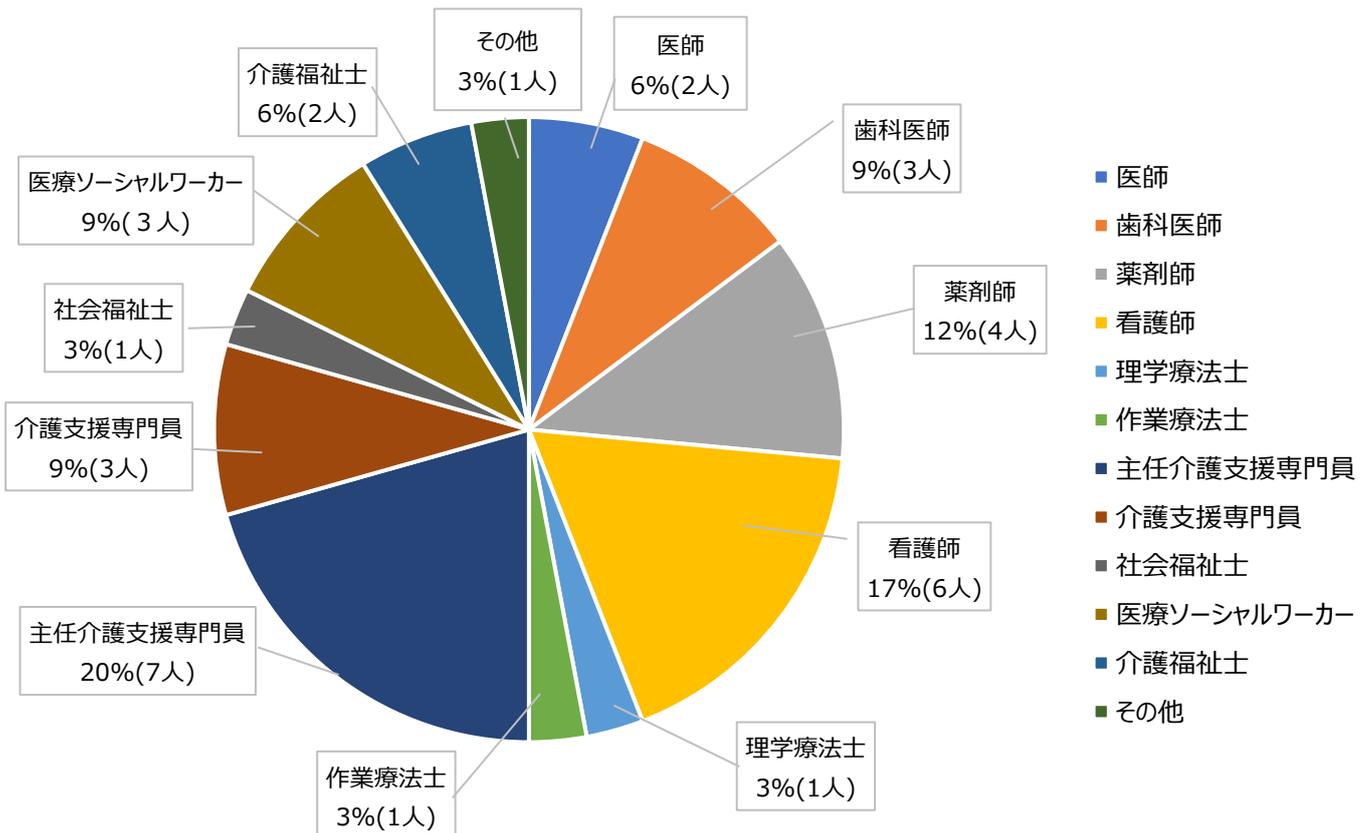
場 所：瑞穂区役所2階 講堂

アンケート回収率：85% (アンケート記入者34名/参加者40名)

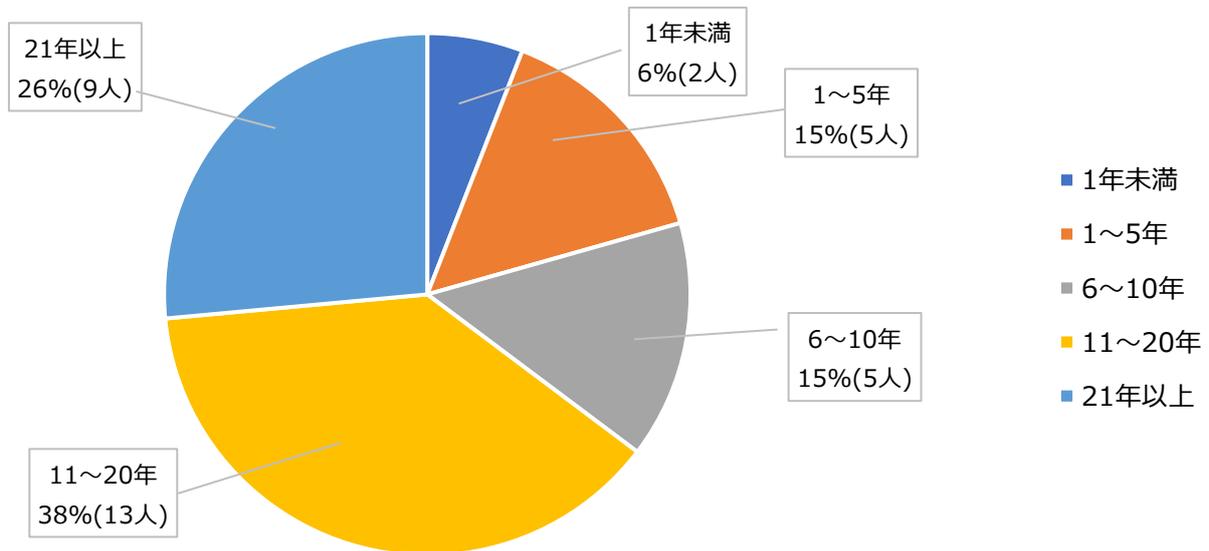
1. 職場所在地



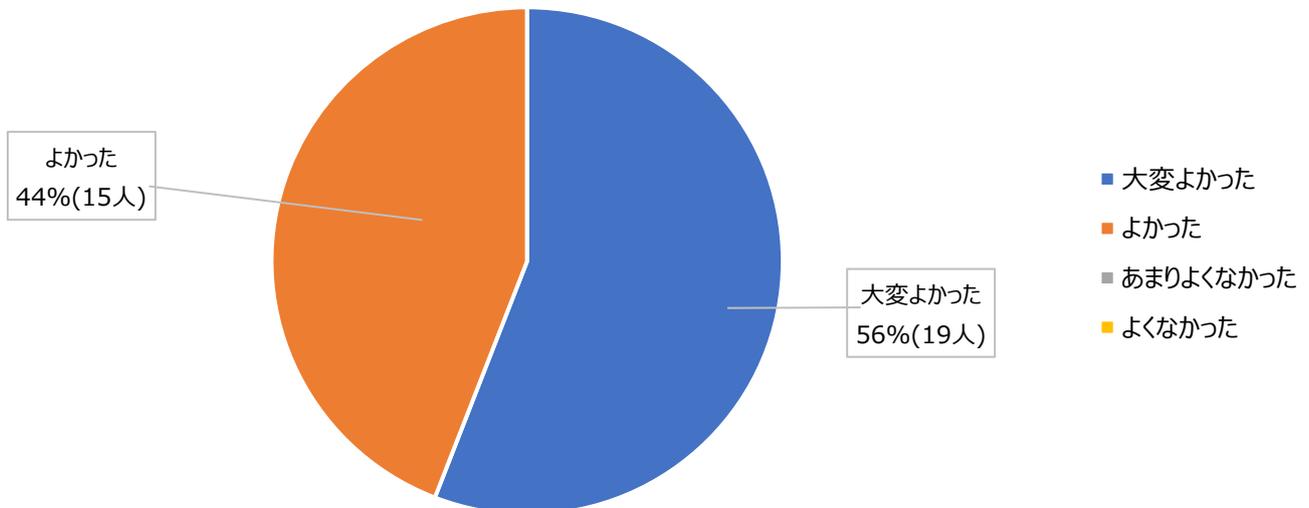
2. 職種



3. 経験年数を教えてください



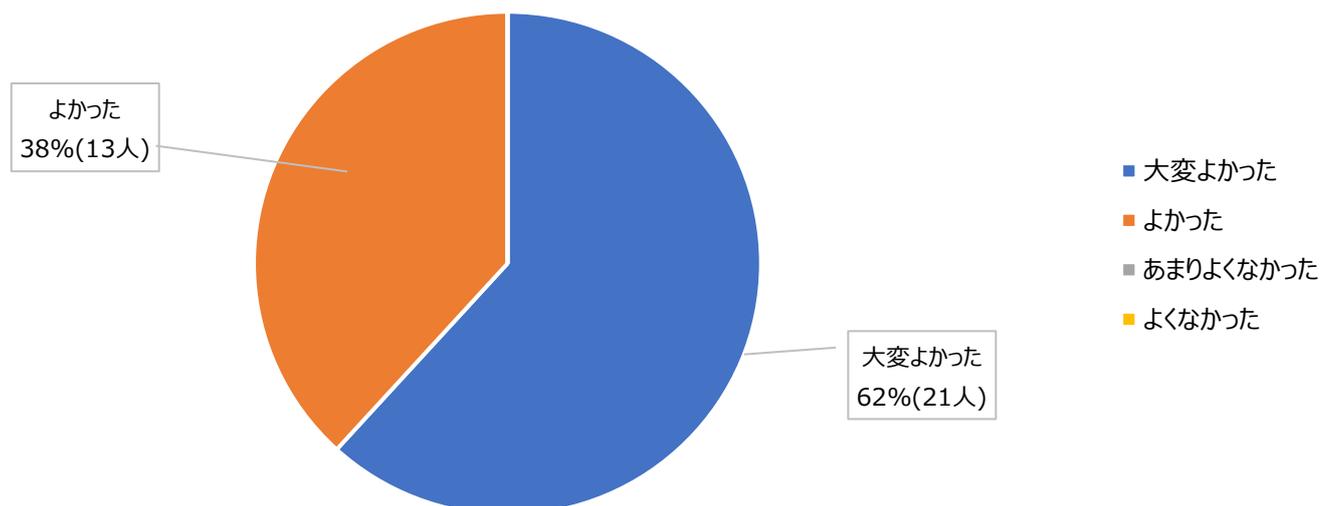
4. 本日の研修会についてお答えください



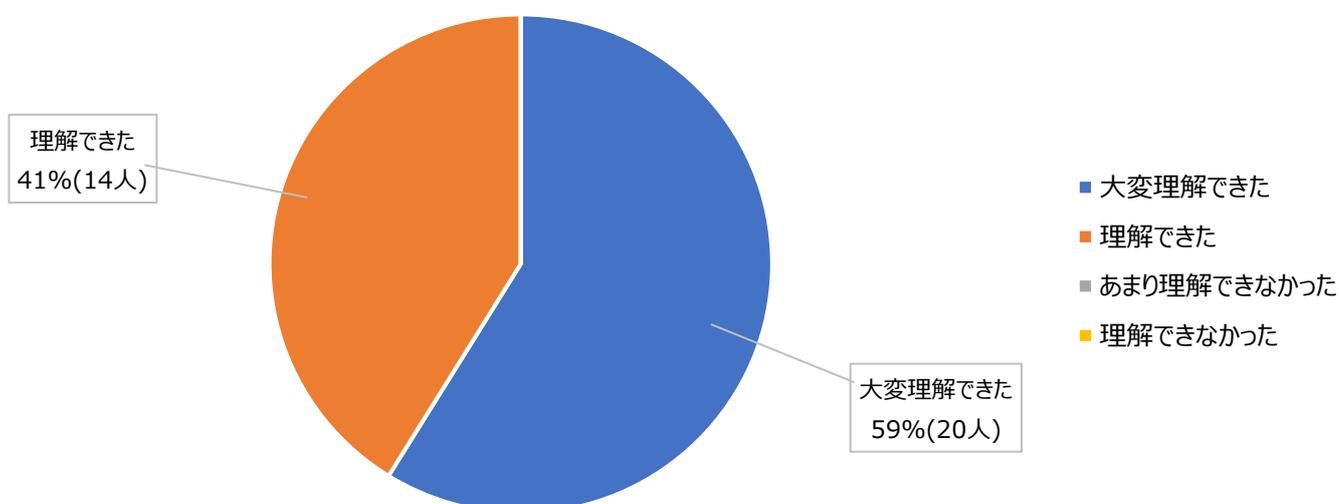
①の理由(自由記載)

- ・ 成田先生の話はざっくばらんでよく理解できました
- ・ 医師・ソーシャルワーカー・ケアマネジャーの意見を聞くことができた
- ・ 時間が短かったので、もう少し長くともらえるとよかった
- ・ はち丸の活用、先生方の意見が聞けたことが参考になった
- ・ 現場からの意見、とても分かりやすかったです。ICTの活用が大切だと思いました。
- ・ 退院支援及び、その後の現状を知ることができた
- ・ 現状がよくわかりました
- ・ 多職種の方と事例検討する機会がなかなかこの規模でないので、学びの機会になり良かったです
- ・ 他の職種の方々が考えられていることが少しわかった
- ・ 多職種で話が聞けて良かった
- ・ 多職種の方々の意見をきける場が少ないので、貴重な意見をきけました
- ・ 普段見聞きすることができない、在宅医療や病院連携などの実態を知ることができ有意義であったため。
- ・ 勉強になりました。詳しい話が聞けて良かったです。
- ・ 別の職種から見た視点が分かりやすかった
- ・ なかなか多職種の方の意見を聞く機会がないのでよかった
- ・ 各職種での情報格差について勉強になりました。

②グループワークはどうでしたか



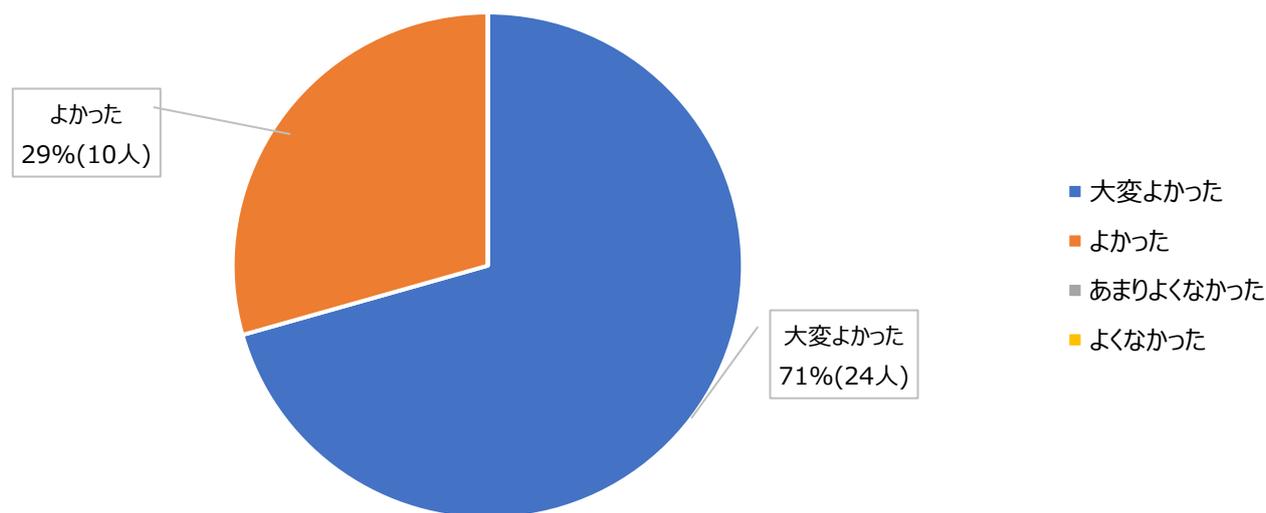
③講義・グループワークを通じて、情報共有や連携の必要性は理解できましたか



④講義・グループワークを通じて、情報共有や連携の必要性・各職種の視点の違い等どのような気づきがありましたか

- ・ 各職種の専門性を生かされた意見をうかがい、情報共有・連携が大切と改めて感じた
- ・ 気付くポイントは違っても、見ている方向が一緒であることが大切だと思った
- ・ みえる視点の違いがあるため、情報共有の必要性を強く感じる事ができた
- ・ 職種により視点は違うが、患者さんやご利用者さんの事を考えているのがよくわかった
- ・ それぞれの視点を理解することの重要性
- ・ 医師が日頃思っていることを聞くことができて良かった
- ・ 医師へ連絡する際の医師の本音が聞くことができた
- ・ 情報を共有することで早期から対応することができ、在宅での看護・介護につなげていけると思った
- ・ 情報共有が間接的になっている部分がまだまだあると思った
- ・ どの職種の方もPTの為に出来る事を積極的に考え実行しようとしている
- ・ グループが多くなると着目する点の違いに気づける
- ・ どの視点を重要と捉えるか本人がやりたいこと身の回りのことなど どうすればかなえられるのか
- ・ 病気から見るだけでなく、生活環境・患者の気持ち、いろいろな視点から見る必要があるということがわかった
- ・ 様々な見解がきけたのが良かったです。
- ・ 他職種の意見が大変参考になった

⑤研修会に参加してよかったと思いますか



⑤の理由

- ・グループワークで医師の意見を聞くことができた
- ・色々な職種の方の意見が聞けてよかった
- ・専門職の方々の貴重な意見を聞くことが出来たこと
- ・他職種の思いや気持ち、考え方を理解することができた
- ・グループワークにより、1人の患者にそれぞれの職種がどう関わっているのかや連携の必要性を認識する事ができた
- ・自分自身では考えない考えを知ることができた
- ・退院支援は入院前から介入できることもある
- ・コミュニケーションの一環にもなりとても良かった
- ・良きグループワークになりました
- ・実際に顔を合わせることで、細かい部分など教えてもらえてよかった
- ・顔のみえる関係になれました
- ・多職種連携の機会になったと思う

4. その他ご意見・ご感想・ご要望などございましたらお聞かせください

- ・また是非参加させて頂きたいです
- ・ありがとうございました
- ・開催して頂きありがとうございました
- ・やはりZoomよりリアルが良いですね
- ・グループワークの個人ワーク内容を、スライドに出してもらえると考えやすかった。一回しか説明がなかったのが追いつかなかった。